（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和６年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	鉄道利用促進及び広域観光推進事業
事業主体 （連絡先）	篠ノ井線松本地域活性化協議会 事務局　安曇野市政策経営課　TEL：0263-71-2401
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大（ア 特色ある観光地づくり）
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,005,442 円（うち支援金：2,404,000 円）

事 業 内 容

イベント名：謎解き×街巡り　信州ぶらりなぞ巡り
時期：令和６年９月１日～令和７年１月 31 日
場所：松本駅周辺エリア、篠ノ井線沿線地域
参加者：700～800 人（推計）
内容：JR 松本駅や自治体、観光協会窓口に置かれた謎解き解答キットをもとに、対象エリアのまち歩きを楽しみながら謎を解いてく体験型ゲームとして開催した。
解答キットは 4,000 部を用意したが、主に JR 駅での配布により在庫がなくなる盛況ぶりだった。

【松本駅への掲出・周知】

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

謎解きイベント参加者に対してアンケート調査を実施し、その集計結果を事業効果の指標とした。
・「今後、積極的に公共交通（鉄道）を利用したい」
　●目標値　25%　→　結果　25.2%
・「構成団体（市村）の特色や魅力を新しく発見することができた」
　●目標値　80%　→　結果　79.4%
・実施事業に対する満足度　「満足、やや満足など肯定的な評価」
　●目標値　90%　→　結果　92.5%

【目標・ねらい】

①公共交通（鉄道）の利用促進
②松本広域圏の観光振興

※自己評価【A】

【理由】
キャンペーンに参加したのは 700～800 人で R5 実施事業への参加者数 500～700 人を上回った。事業評価の指標については目標値を下回る項目もあったが、鉄道利用や特色・魅力発見などポジティブな回答を含めると一定の効果があったと考える。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本年度の取り組みは、鉄道利用促進と広域観光振興に寄与し、参加者の満足度も高い結果となった。今年度は最終年度（3 年目）であったことから事業の継続により徐々に取り組みが認知されてきたと考える。
次年度以降については自主財源により取り組みを行っていくことになるが、地域住民や来訪者等が楽しめる参加型事業の実施について検討していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある